
第71回接続料研究会の追加質問に対する回答

2023年5月30日
株式会社NTTドコモ

着信事業者が設定する音声接続料の在り方に関する論点整理①関係（佐藤構成員）

問 指定設備設置事業者の選択可能化については先行して議論していくべきと考えるが、その前提として、指定設備設置事業者がビル&キープ方式を選択可能となることにより公正競争上どのような効果が期待できると考えられるか。

回答

- ビル&キープ方式が選択可能となり、同方式が普及すれば、自社のネットワークコストの削減効果をそのままユーザ料金等に反映できるようになるため、利用者利便の向上につながることを期待されます。
- また、紛争している事業者との間で個別にビル&キープ方式が選択可能となれば、トラヒック・ポンピングのような不適切なビジネスモデルの是正につながることも期待されます。例えば、裁定方針において、近似的に他の費用等を用いることが困難な場合にビル&キープ方式を採用するようにすることで、総務大臣裁定を通じた事業者間の合意がなされることを想定しています。
- なお、合意に基づき個別にビル&キープ方式を選択している指定設備設置事業者が、他の事業者と合理的な理由なく同方式を選択しないということがなければ、公正競争上の懸念はないと考えます。